

朝鮮戦争と占領終結

日本の敗戦後、米軍の軍政下の朝鮮半島南部に韓国が、ソ連軍の軍政下の朝鮮半島北部に北朝鮮が建国した。両国は、東アジアでの米ソ対立を具現化し、1950 年には朝鮮戦争を始めた。アメリカは、朝鮮戦争で日本の戦略的価値を再認識し、日本を独立国として回復させるとともに、西側陣営に早期に編入しようとした。

○ 朝鮮戦争

● 朝鮮戦争の開戦と休戦

1950～53 年、⁽¹⁾ _____

- …北朝鮮が、北緯 38 度線を越えて大韓民国に侵攻し、開戦した戦争
- …①安全保障理事会が、武力制裁を決めて国連軍（実質は米軍）を派遣
- …②米軍は北朝鮮軍を押し返し、1951 年、北緯 38 度線を越境
- …③これに対して、中国人民義勇軍が北朝鮮側に参戦して戦線が膠着
- …④1953 年、板門店^{はんもんてん}で休戦協定調印

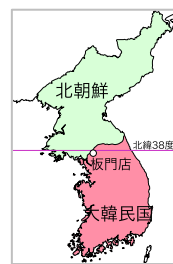


図1 朝鮮半島



図2 仁川上陸作戦

Old soldiers never die ; they just fade away—マッカーサー

朝鮮戦争の緒戦、韓国軍・米軍の窮地に、マッカーサーは米海兵隊による仁川上陸作戦を成功させ、北朝鮮軍を一挙に押し返した。しかし、中国人民義勇軍の参戦で、戦争は一進一退になった。マッカーサーは、現状打開に原爆の使用を主張するが、ソ連参戦を恐れるトルーマン大統領に罷免された。退任演説で、若き軍人時代に自分も歌った老兵に対する風刺歌を引用し、「Old soldiers…」と述べた。



● 占領政策の転換②—再軍備

朝鮮戦争の開戦で、在日米軍が朝鮮に動員され、日本に軍事的空白が生じた。

⇒GHQは、旧日本軍軍人の⁽²⁾ _____ の解除をおこない、
軍事的空白を埋めるために新設した⁽³⁾ _____ に採用していった。

● 占領政策の転換③—政治の安定

1950 年、GHQは日本共産党幹部の⁽⁴⁾ _____ を指令した。

⇒同年、共産主義者のより一層の追放⁽⁵⁾ _____ が始まった。



また、GHQは⁽⁶⁾ _____ (_____) を結成させ、
日本共産党主導であった労働運動の抑制を目的に、その主導権を握らせた。

◇(6) …後に左傾化し対米協調の政治に反対、春闘による賃上げを指導



図3 警察予備隊の訓練

○ 占領政策の終結

● 単独講和か全面講和か

アメリカは、朝鮮戦争で日本の戦略的価値を再認識し、

日本を西側陣営に早期に編入しようとした。

⇒米国ダレス外交顧問らは、ソ連などを除外した単独講和で、
講和後も日本に米軍を駐留することを条件に準備を進めた。

単独講和	アメリカ側（西側陣営）だけとの講和
全面講和	ソ連・中華人民共和国などを含む 全交戦国との講和

図4 単独講和・全面講和

<第3次吉田茂内閣 | 1949年2月～1952年10月>

東京大学教授の⁽⁷⁾ _____ や講和をめぐる分裂した日本社会党左派は、ソ連・中国を含む全交戦国との全面講和を主張した。

⇒第3次吉田茂内閣は、米軍の駐留を許容して再軍備の負担を最小限にし、経済復興に全力を注ぐためにも単独講和を決意した。

◇講和条約への賛否をめぐる、日本社会党は分裂

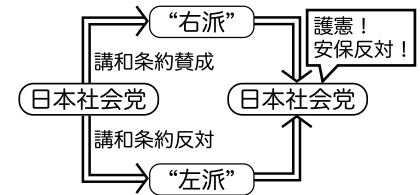


図5 日本社会党の分裂

●平和条約の調印

<⁽⁸⁾ _____ 内閣 | 1949年2月～1952年10月>

1951年9月、⁽⁹⁾ _____ 調印

…サンフランシスコ講和会議で調印された、日本と **48** カ国との講和条約

…日本主席全権は⁽¹⁰⁾ _____ 首相

…内容への不満から、東欧・ソ連は調印拒否、**インド・ビルマ**などは会議欠席

…交戦国の中国は、⁽¹¹⁾ _____ ・中華民国の対立を考えて不招請

…①交戦国に対する日本の賠償責任を著しく軽減

…②朝鮮の独立、台湾・南樺太・千島列島などの放棄

…③南西諸島（奄美諸島・沖縄）・小笠原諸島のアメリカの施政権下



図6 調印する吉田茂

1952年4月、⁽⁹⁾ が発効して、日本は独立国としての主権を回復した。

◇1952年、日本と⁽¹²⁾ _____ は、⁽¹³⁾ _____ で国交正常化

◇日本は、1952年にインドと、1954年にビルマとも平和条約を締結

◇1953年、アメリカの施政権下にあった⁽¹⁴⁾ _____ が日本に返還

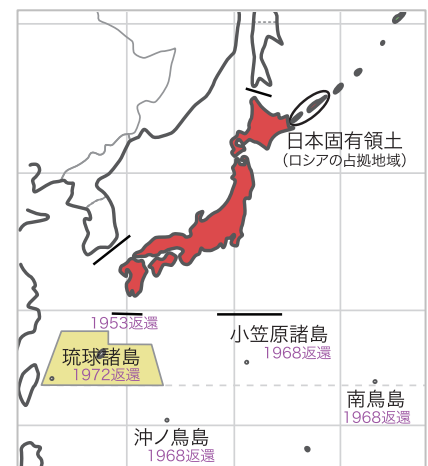


図7 日本の領土

[賠償による進出]

条約に従い、日本の交戦国の多くは、日本への賠償請求権を放棄した。

→一方、フィリピン・インドネシア・ビルマ・南ベトナムは、

日本と賠償協定を結び、1976年までに10億ドルの賠償支払いをうけた。

⇒支払いが、建設工事の実施や生産物の提供という形をとったため、

日本の商品・企業の東南アジア進出の足がかりとなった。

[非交戦国に対する賠償]

日本は、非交戦国のタイ・大韓民国にも、賠償に準ずる支払いをした。

●日米安保条約

<第3次吉田茂内閣 | 1949年2月～1952年10月>

1951年9月、⁽¹⁵⁾ _____ (_____) 調印

…平和条約の調印と同日に日米間で調印された、日本の防衛のための条約

…アメリカ軍は、「極東の平和と安全」のために日本に駐留を続け、

日本のどの地域でも基地として要求可能（「極東」の範囲は不明確）



1952年2月、⁽¹⁶⁾ _____ 締結

…⁽¹⁵⁾ にもとづき結ばれた、⁽¹⁵⁾ の細目協定

…米軍駐留施設の無償提供や駐留費用の分担、米軍人の裁判権などを許容

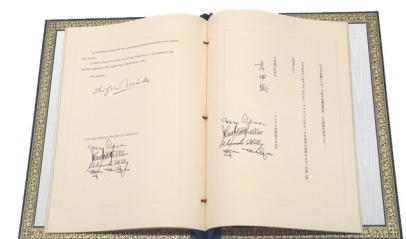


図8 安保の署名文書